

2015年2月5日

東洋大学、スーパーグローバル大学創成支援採択 記念シンポジウム開催のご案内

～世界水準の大学とは何か～国際化と質保証の課題～

2月13日（金）13：30～（13：00受付開始）於 白山キャンパス

東洋大学（文京区白山／学長・竹村牧男）は2014年9月、文部科学省による「スーパーグローバル大学創成支援タイプB（グローバル化牽引型）」の採択をうけました。これを記念し、2月13日（金）に国際シンポジウムを開催します。

今回、採択されたのは「TOYO GLOBAL DIAMONDS グローバルリーダーの集うアジアのハブ大学を目指して」と題した構想で、ダイヤモンドの原石である学生を磨き、輝きを放つグローバル人財へと成長させる教育を実践することが目的です。エリートから中核人財まで幅広く育成することで、全学のグローバル化構造の総体的な底上げを実現します。

本シンポジウムでは国内外よりゲストをお招きし、記念講演を開催するほか、大学の国際化における取り組みや課題についてパネル・ディスカッションも行う予定です。また、シンポジウム内において、UCLA継続教育センターと「TOYO-UCLA継続教育センター」設立に関する協定調印式も予定しています。

記

【東洋大学 スーパーグローバル大学創成支援採択記念シンポジウム】

■開催日時

2015年2月13日（金）（受付開始13：00）

■場所

東洋大学白山キャンパス 8B11教室（8号館地下1階）

■発表言語：英語（同時通訳付）

文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」について

文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」は、日本における高等教育の国際競争力の向上を目的に、世界レベルの教育研究を行うトップ大学や日本社会の国際化を牽引する大学に対して重点支援を行うものです。採択校は2014年から10年間にわたり補助金を受けながら、大学の国際競争力の向上を図るための徹底した「大学改革」と「国際化」を進め、学生のグローバル対応力育成や高い国際通用性を目指した新たな取り組みを推進していきます。

東洋大学が採択された「タイプB：グローバル化牽引型」には、全国の国公立大学から93校の事業推進申請があり、うち24校（私立大学12校）が採択されました。

■プログラム：

2月13日（金）13：30～17:30

会場：東洋大学白山キャンパス 8B11教室（8号館地下1階）

- 13:30～13:40 開会挨拶
東洋大学理事長 福川 伸次
- 13:40～14:00 来賓挨拶
・佐藤邦明氏
（文部科学省高等教育局高等教育企画課国際企画室国際企画専門官）
・Dr. Wayne Smutz
（Dean of Division of Continuing Education and UCLA Extension）
- 14:00～14:45 記念講演①
「世界水準の大学への道－競争環境下における質保証の課題－」
Philip G. Altbach氏（ボストン・カレッジ教授）
- 14:45～15:15 記念講演②
「国境を超える大学の取り組み－国際連携の新たな潮流－」
Eva Egron-Polak氏（世界大学協会 事務局長）
- 15:15～15:35 スーパーグローバル大学創成支援事業説明
「アジアのハブ大学をめざして」
東洋大学学長 竹村牧男
- 休憩（10分）
- 15:45～16:30 提言「アジアの大学の国際化と日本の役割」
・金子元久氏（筑波大学・大学研究センター教授）（30分）
・黒田一雄氏（早稲田大学アジア太平洋研究科 教授）（15分）
- 16:30～17:30 パネル・ディスカッション
パネリスト：Altbach氏、Eva Egron-Polak氏、金子氏、黒田氏
モデレーター：芦沢真五 東洋大学 国際地域学部教授
- 17:30 閉会挨拶
東洋大学国際担当副学長 北脇秀敏